

乳がん罹患リスクに関連する遺伝子多型の探索を目的とした大規模国際共同研究

【目的】

全ゲノム関連解析などの手法を用いて、乳がん罹患リスクに関連する遺伝子多型を明らかにし、異なる民族集団間で比較検討することです。

【対象】

2001年から2005年にかけて、長野松代総合病院、長野赤十字病院、長野市民病院、北信総合病院において「乳がん予防を目的とした疫学調査」に参加された401人の乳がん患者さんと401人の健常者の方の保存血液サンプルおよびアンケート・臨床情報を対象とします。

【検討方法】

保存血液より抽出したDNAを用いて、ゲノム上の一塩基多型をマーカーとして、それらを乳がん患者さんと健常者の間で比較するという全ゲノム関連解析などの手法を用いて、乳がん罹患リスクに関連する遺伝子多型を明らかにします。本研究では、英国ケンブリッジ大学などの共同研究機関にDNA試料を提供し、遺伝子多型の解析およびデータ解析を行う予定です。

【予想される研究結果・意義】

本研究により、乳がんの新たなリスク要因が明らかとなり、発がんメカニズムの解明や個人個人に適した合理的な予防法の実現に貢献することが期待されます。

【個人情報保護に関する方法】

本研究では、すべて匿名化されたサンプル・情報を解析に使用します。個人情報と直結可能なリストなどの情報は、試料等が提供された長野県内4病院において共同研究者（担当医師）が施錠したキャビネットに保管するなどして、厳重に管理されています。今回は共同研究機関にサンプル・情報を提供する際に新たに匿名化を行います。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：】

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター がん予防・検診研究センター

TEL：03-3542-2511／FAX：03-3547-8578

センター長 津金 昌一郎（研究代表者）

部長 岩崎 基（事務局担当）（内線 3391）